

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県聴覚障害者福祉センター
 指定管理者 (福)神奈川県聴覚障害者総合福祉協会
 施設所管課 保健福祉部障害福祉課

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	H21.5.10	H21.5.12	月報・現地を確認、改善すべき業務はなし
5月	H21.6.10	H21.6.12	月報・現地を確認、改善すべき業務はなし
6月	H21.7.10	H21.7.13	月報・現地を確認、改善すべき業務はなし
7月	H21.8.10	H21.8.11	月報・現地を確認、改善すべき業務はなし
8月	H21.9.10	H21.9.11	月報・現地を確認、改善すべき業務はなし
9月	H21.10.10	H21.10.13	月報・現地を確認、改善すべき業務はなし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- ① 手話通訳、要約筆記は、聴覚障害者の情報保障、コミュニケーション支援として重要なものであり、それぞれ約1年間をかけ、神奈川県手話通訳者、要約筆記者としての養成を行います。
- ② 近隣の町内会や学校のPTA等の部屋利用をはじめ、民生委員や各地域のボランティアグループ、手話サークル等の施設見学、福祉関係の大学、専門学校からの施設実習生の受け入れ等も行っています。
- ③ 聴覚障害児及び聴覚障害者指導は、就学前の聴覚障害児対象とした聴覚障害乳幼児指導と成人聴覚障害者を対象としたコミュニケーション教室を実施します。

<実施状況>

- ① 手話通訳養成講習会 申込59名 定員50名
 実施日5月30日、6月6日、13日、20日、27日
 要約筆記者養成講習会(手書き) 申込20名、定員15名
 実施日5月22日、29日、6月5日、6月12日～7月10日
 要約筆記者養成講習会(パソコン) 申込21名 定員15名
 実施日5月22日、29日、6月5日、6月12日～7月10日
- ② センター見学 5月21日 県立深沢高校 13名
 7月1日 県立平塚ろう学校 10名
 7月31日 開成町社会福祉協議会 31名
 8月11日 鎌倉手話講習会 25名
 9月17日 小田原の手話サークル松の会 13名
 高校生を対象とした「聴覚障害者についての講座」 7月28日実施 9校29名の参加
- ③ コミュニケーション教室「手話教室(初級)」を開始。8月26日7名参加

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金 額)	その他収入		
年間予算額	147,377			147,377	0
上半期計 (a)	71,251	()		68,139	3,112
下半期計 (b)		()			
4月	9,973	()		5,975	3,998
5月	10,526	()		11,087	△561
6月	19,675	()		19,737	△62
7月	10,372	()		11,762	△1,390
8月	10,333	()		9,750	583
9月	10,372	()		9,828	544
合計 (a+b)	71,251			68,139	3,112

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	9,861 人	9,940 人	△0.8%
下半期計 (b)	人	(人)	%
4月	1,726 人	1,444 人	19.5%
5月	1,685 人	1,690 人	△0.3%
6月	2,421 人	2,332 人	3.8%
7月	1,521 人	1,723 人	△11.7%
8月	1,048 人	1,153 人	△9.1%
9月	1,460 人	1,598 人	△8.6%
合計(a+b)	9,861 人	9,940 人	△0.8%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
	・	
職員対応	・特になし	
	・	
事業内容	・特になし	
	・	
その他	・特になし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	特になし		
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>事業計画に沿って事業を実施しており、日々利用者の声を大事に、利用しやすい施設を目指して職員一同研鑽していく。なお、参加者が多く見込まれる講座等には会場風景を撮影し、他の場所でも参加できるように工夫をしたが、手話通訳の映像を入れるなど改良の余地もまだあるので利用者にとって利用しやすい施設になるよう心がける。</p>
施設所管課	<p>手話通訳者養成研修のうち、短期養成研修を特別養成研修に変更し、当該年度の神奈川県手話通訳者認定試験を再受験する希望者を対象に手話通訳技術の講習を行うなど参加希望者が少なくなった事業について利用者のニーズをくみ取った事業が行われている。</p> <p>今後も利用者ニーズを事業に反映し、利用者に満足していただける施設であってもらいたい。</p> <p>施設の管理についても現在に引き続き良好に努めてもらいたい。</p>